

5月3日(月)

私たちへの良い知らせ

聖書朗読 マルコ2:2:1~12

造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に対して弁明するのです。

ヘブル4:13

イエス様が良き知らせを告げ始めたころ、カペナウムで体の不自由な男の人に会いました。この人の友人たちは家の屋根を剥がすようなことまでして彼をイエス様の前につり降ろし、助けを求めました。イエス様は、この素朴な信仰をお喜びになりました。

その時、友人たちはイエス様には罪を赦す力があるとは知らなかったかもしれません。イエス様は彼らの信仰を見てこうおっしゃいました。「子よ、あなたの罪は赦された」罪を赦すことは、イエス様にとって体を癒す以上に最優先したいことだったのです。

もう一つこの場面で、イエス様がなさったことで忘れてはならない事があります。それは、イエス様は人々の思いや心の中の思いを全てご存知であったという事です。律法学者たちに「なぜ、あなたは心の中でそんな理屈を言っているのか」(マルコ2:8)と言われました。彼らの真実を恐れぬ考えを見抜いてこうも言われました。「人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなた方に知らせるために」(マルコ2:10)

人々を救うために来られたイエス様が、あわれみや権威や寛容を示された場面は、この後何度も聖書に出てきますが、今回の聖書箇所から3つのことが学べます。イエス様は信仰を大事に思われるということ。イエス様は私たちの心の中の思いをご存知であり、その動機を問いかけるお方であるということ。イエス様には罪を赦す権威があるということ。なんとすばらしいことでしょうか。

讃美歌 270

祈り 天のお父様、救い主であるイエス様という言葉に表せないほどの贈り物をいただいたことを感謝します。

この祈りをイエス様のお名前によって御前にお捧げいたします。アーメン。

ジェニス・グリーンリーフ
アラバマ州 ハンツビル

今日のカ

2021年5月3日~5月9日

翻訳 ハンコック・真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月4日 (火)

恐れるな、ただ信ぜよ

聖書朗読 マルコ5：21～24、35～43

また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください。
ピリピ4：19

神様は、何も悪いことは起こることはないから心配しなくて大丈夫だとは言っていません。心配なことは起こるだろうけれども、私たちが神様と共にいれば怖がることはないとおっしゃっています。

この壊れた世の中で、恐れを抱くことはよくあることです。子供の高熱、仕事を失うこと、病気の治療が不可能であると告げられることなどです。長く生きていて、自分ではどうにもならない状況に置かれることがあります。物事をコントロールができていたのだという幻想は消えていきます。悪と死はあなた自身よりも大きいものだと言うことを気付かされます。あなたにはそばにいてくださる大きな力を持った神様が必要になります。

ヤイロがかけられた「恐れなくて、ただ信じていなさい」(マルコ5：36)という言葉は私たちへの教えでもあります。非情な困難な状態で信頼できるのはイエスさまだけです。イエス様に近づくとき、彼の偉大な愛と真実が私たちを取り囲みます。イエス様はいかなる最悪の環境の中でも働いてくださり、私たちの人生に何が起ころうとも助けてくださいます。いかなる時でも何が起ころうとも神様は私たちに良きことをしてくださるのだと信じるとき、恐れて当然のようなことにも向かっていけるのです。

心配しても明日の悲しみが減る訳でない。

しかし、心配は今日生きる力を消してしまう。

コーリー・テン・ブーム

讃美歌 276

祈り 神様、私が恐れを抱く時、あなたが私に良きことをして下さると信頼することができますように。物事が自分の思い通りに進んでも進まなくても、あなた様に頼って生きていくことができますように。
イエス様のお名前によって。アーメン。

イーサン・ブラウン

ノースキャロライナ州 ヘンダーソンビル

5月5日 (水)

私ははっきりと見るだろう

聖書朗読 マルコ8：22～26

神の御顔を仰ぎ見る。

黙示録22：4

私には目の悪い幼馴染がいました。彼はメガネを買ってもらうまではっきりものを見る事ができませんでした。眼鏡をかけて初めて木には葉っぱがあると分かったのです。彼はそれまで葉っぱをはっきり見たことがなかったのです。

年を取った今の私は、彼の言っていたことが理解できるようになってきました。メガネを度々使うようになりました。読むときには文字をはっきり見るためにより強い光でページの真上から照らしています。夜中は良く見えません。

もっとはっきり見たいものがたくさんあります。

神様とイエス様をよりはっきり見たいです。それは私がこの世で神様の光を反映したいからです。しかし、それさえも私の目にはぼんやりとしか見えない時があります。

マルコに出てくる目の見えない人のようにぼんやりと見えるものがあります。それは聞かれた祈り、みことばが成就する時、神様のみ守りと導きの証拠、御霊の実です。しかし、いつの日かにははっきり見えることになるのですが、今ははっきりとは見えないのです(1コリント13：12)。いつの日か私たちは顔と顔を合わせて神様を見ることになります。

そして、その時まで私たちの内側でイエス様に輝いていただきましょう。この暗い世界の中で私たちの光は輝きます。今日も明日もその次の日も。神様のすべての栄光を完全に見るその時まで。

讃美歌 280

祈り 神様、この世の闇の中であなたのひとり子イエス様の光を反映することができますように。顔と顔を合わせてあなたを仰ぐ天国の住まいに私たちを連れて行ってくださる日を待ち望むように助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スティーブ・リジェル

テキサス州 アビリン

5月6日(木)

私に従いなさい

聖書朗読 マルコ10:17~31

あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。わたしの父の家には住む所がたくさんあります。ヨハネ14:1~2

今回の聖書箇所が登場する金持ちの男は心を痛めました。なぜなら、彼は永遠の命のためにこの世の富を手放すことができなかつたからです。イエス様は彼に人生の目的、権力や地位の束縛からの解放を教えました。イエス様は彼と真の友達になろうともしました。

この物語の一番大事なところは、財産の話ではなくて、私たちが本当に愛するのは何かという心の話です。もちろんイエス様は貧乏な人たちを憐れんでいました。彼は貧しい人たちのところに行って、病を癒し 空腹な人たちに食べ物を与え、愛し、心を配りました。イエス様は人と関わることを大事にしました。それは、つまりイエス様が永遠に続く御国、神の国で働いていたことを表します。

この物語の男の人は時間とエネルギーを財産を築くことに費やしていました。そこから解放されることで現在と未来の豊かな命を手に入れることができたのです。

主と主の言葉に たよるはたのし
主はわが願いを ききいれたもう
ひたすらただ主に たよるわが身を
主よ主よ なおなお めぐませたまえ
ルイーザ・ステッド

讃美歌 II 173

祈り 親愛なる天の神様。この世の悪い習慣につながれている私たちをカルいほうし
てくださり、あなたに従うことの障害になるすべての重荷から解き放って下
さい。私たちが自分の持っているものを分け合う心を持つことができますよ
うに。

イエス様のお名前でお祈りいたします。アーメン。

ジュエル・クラークトン

5月7日(金)

愛する人に愛を降り注げ

聖書朗読 マルコ14:3~9

また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ヘブル10:24

私たち家族がノースキャロライナに引っ越した時 多くのすばらしい人たちに
出会いましたが、ルーシーはその中で際立っていました。レストランに招待してくれて、
そこで子供達にたくさんのプレゼントをくれたのです。たくさんのものを彼女がくれ
たものですから、娘が後で「ルーシーさんはお金持ちなの？」と私に聞いてきました。
この世の基準でいうとルーシーはお金持ちというわけではありませんでした。プレゼ
ントばかりすることは無駄な行為だと思ふ人もいるかもしれませんが、しかし、愛が必
要だった私たちにとっては愛を注がれた行為だったのです。そして、それは私たち家
族にとって忘れ難いものとなりました。

名もない女性がイエス様の足に香油を塗りました。それは彼女が唯一できる行動
でした。それを無駄な行為だと非難する人もいるかもしれませんが、しかし、イエス様
は彼女の溢れんばかりの愛をほめて、これから後誰も彼女を忘れる人はいないであろ
うとおっしゃいました。この世にはもっとルーシーのような人が必要です！ 自分に
できる精一杯のことをしましょう。ジェームズ・テイラーの歌のように愛する人たち
にあなたの愛を降り注ごうではありませんか。

聖歌 570

祈り 私の人生を祝福してくれた沢山の愛情深い人たちに感謝します。その人たちは
大小あらゆるやり方であなたの愛を私に見せてくれました。私も毎日精一杯私の周
りの人たちにあなたの愛を見せることができますように助けてくだ
さい。

イエス様のお名前を通して御前にお捧げいたします。アーメン。

ディリュー・ベイカー
ノースキャロライナ州 ルイスビル

5月8日(土)

あなたのゲッセマネ

聖書朗読 マルコ14:32~42

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、いいようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいませ。ローマ8:26

マルコ14章では、ゲッセマネの園でイエス様の様子が描かれています。その後、イエス様は裏切られたのです。イエス様は神様ですが、人間であり感情も持っていました。この聖書の箇所では、苦悩と苦痛と悲嘆にくれたイエス様が描かれています。そこで、彼は何をしたのでしょうか。離れた場所に行き、一人祈ったのです。しかも1度ではなく3度も。イエス様は父なる神様にこれから受ける死の杯を取り去ってくださるように強くお願いしました。そして、神様に従う決心をされてこう言われました。「私の望むことではなく、あなたが望みになることが行われますように。」シンプルなお願いでした。しかし、イエス様の父なる神様への従順は世界を変えました。

祈る言葉さえ出せないような重荷に押しつぶされ圧倒されている時に行く場所がありますか。場所というよりも誰の所に行くかが大切になります。イエス様の模範に従い、天の神様のところに行きましょう。何度も繰り返し祈り、聖霊に仲介していただいて私たちのうめきを神様に向けましょう。そうすることで、イエス様のように神様に従い、私たちが望むことよりも神様に従順であることがより良いことと知ることができます。

讃美歌 354

祈り 主よ。困難に押しつぶされて何を祈ればいいのかどう祈ればいいのかわからなくなってしまうときがあります。聖霊をありがとうございます。私の望むことではなく、あなたが望みになることが行われますように。

イエス様のお名前です。アーメン。

ローズマリー・マクナイト
テネシー州ヘンダーソン

5月9日(日)

不完全な者の救い主

聖書朗読 ルカ6:37-42

自分の目にある梁が見えずに、どうして兄弟に、「兄弟、あなたの目のちりを取らせてください」と言えますか。偽善者たち。まず、自分の目から梁を取りのけなさい。そうしてこそ、兄弟の目のちりがはっきり見えて、取りのけることができます。

ルカ6:42

イエス様以外に完璧な人はいません。「全ての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」(ローマ書3:23)。全くもってクリスチャンたちでさえ完璧ではありません。その代わりに私たちクリスチャンは憐れみを受けて赦された者なのです。

悲しいことに、今日では多くの人が完璧な人が賞賛されるべきだと思っています。この考え方に沿って考えると、モーセもヤコブもダビデもペテロも賞賛される人間から外れてしまいます。そのリストには私の名前も載ることになります。

女性の場合も同じで、賞賛されるべき女性は一人もいないということになります。悪魔の嘘にだまされたエバ(1テモテ2:14)、「神を呪って死になさい」(ヨブ2:9)といったヨブの妻もです。言い換えますと、過ちを犯さないで人生を送った人は一人もいないということです。

だからイエス様は「裁いてはいけません。自分が裁かれないためです」とおっしゃったのです(マタイ7:1)。イエス様の教えは、誰かを裁いたりするより他の人に対して正直であることに焦点を当てています。イエス様の切なる願いは、全ての人が男も女も自分たちの不完全さを深く知り、完全なお方であるイエス様のところに行くことです。

不完全さを持つ他の人を非難し糾弾する代わりに、不完全な者の救い主、イエス様のもとにその方たちを導きましょう。

讃美歌 392

祈り 完全であられる天の父よ。私も含めて完全さに欠けた人々を救ってくださいませ。ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

マーク・R・ガイ
オハイオ州 ウェストキャロルトン